

山梨県観光入込客統計調査 (平成25年1月～7月・延べ人数・速報値)

- | | |
|--------|---|
| ○ 調査期間 | 平成25年1月～7月 |
| ○ 調査対象 | 前年の年間入込客数が1万人以上、又は前年の特定月の観光入込客数が5千人以上の観光地点(平成25年:345地点、平成24年:351地点) |
| ○ 調査方法 | 全観光地点を市町村経由で照会 |
| ※ 延べ人数 | 各観光地点(観光施設・イベント)への観光入込客の総数 |

調査結果の概要(平成25年と平成24年の比較)

<1月から7月>

延べ22,518千人 対前年 約262千人増加(前年比 101.2%)

<1月から4月>

延べ10,343千人 対前年 約259千人減少(前年比 97.6%)

- 1月は中央自動車道上り線笹子トンネル天井板落下事故の影響に加え、降雪等天候に恵まれなかったことから大きく減少したものとみられる。
- 2月は中央自動車道の全面復旧(2/8)に伴い、回復傾向がみられる。
- 3月は暖かい日が続き、桜や桃の開花時期が早まったことにより増加した一方、4月は逆に減少に転じたとみられる。

<5月から7月>

延べ12,175千人 対前年 約521千人増加(前年比 104.5%)

- 月別では、各月とも前年を上回っている(5月:前年比 105.1%、6月:前年比 103.8%、7月:前年比 104.4%)。
- 圏域別では
 - 峡中圏域は、サッカー等スポーツイベントの減少などにより、各月とも前年に比べ減少したとみられる。
 - 峡東圏域、峡北圏域及び東部圏域は、前年を上回る入込となっている(峡東:前年比 103.5%、峡北:前年比 102.6%、東部:前年比 100.1%)。
 - 峡南圏域は、3月末に富士川地場産業センター・道の駅富士川ふるさと工芸館が閉館したことから、各月とも減少したものとみられる。
 - 富士北麓圏域は、富士山の世界遺産登録の勧告、世界遺産決定などにより富士山及び周辺施設等の注目が高まったことにより関連する施設を中心に客足が伸びたことに加え、期間を通して好天に恵まれたため、花をテーマにした公園、行祭事・イベントが好調であったことから、大きな伸びを示したとみられる。